

OPU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OPU students



プロフィール (Profile)

氏名 (name) S.Y.
所属 (school) 地域保健学域
総合リハビリテーション学類
学年 (grade) 1 年
留学先 (Name of overseas institution)
カナダ・ビクトリア大学
留学期間 (study abroad period)
2021/2/22~2021/3/19
記入日 (Date) 2021/3/30

留学レポート Study Abroad Report

- 1) オンライン留学をしようと思ったわけ
私はもともと留学に興味がありました。一番のきっかけは高校の時の修学旅行でオーストラリアに行ったことです。海外に行ったことがあるのはこの1回だけでほとんど学校の人たちと過ごしてたのですが、日本との違いを実際に感じたり、今まで習ってきた英語を少しではありますが使うことのできる機会があり嬉しかったのを覚えています（オーストラリアの訛りは日本で習ってきたものとは少し違いました）。新型コロナウイルスが流行していなければ、大学生のうちにカナダに留学したいとずっと思っていました。しかし、今の世の中では実際にカナダの大学に行くことはできません。授業のポータルサイトに留学の記事が載るたびにチェックをしていたのですが、自分の興味があるカナダの大学とオンラインでつないで授業を受けることができる事は良いのではないかと思いました。オンライン留学なのだからカナダにこだわる必要はないのではないかと思うかもしれませんがやはり憧れの地にある大学の授業に参加してみたいと思いました。カナダでの生活について少しでも知ることができるとも思いました。また、私は外国語を学ぶことが好きです。私は日本語も好きですが、英語は日本語よりも多くの国で通じるので学ぶことが楽しいと感じます。洋楽やテレビで外国の方が受けているインタビューを少し聞き取れたりすると楽しくなりました。今は翻訳機やパソコンの翻訳機能も充実してきていますが自分で理解できるようになりたいです。私は語学を専攻しているわけではないので大学の授業も専門科目が多く、英語に触れる機会が少なかったため英語に触れる機会を増やしたいと思いました。そして、TOEIC のスコアを少しでも伸ばすことができたら良いと思いました。今まで TOEIC を受けたことがなかったのですが初めて大学で TOEIC を受けました。先延ばしになったことからあまり勉強をしないまま受けてしまった自分が悪いですが、比較的英語は得意な方だと思っていたのに試験時間は不足、単語や文法も忘れておりとてもショックを受けました。オンラインで留学って意味があるのかなと思ったこともありますが、大阪府立大学が奨学金を出してくれることもあり、英会話教室に1ヶ月間集中で通っているのだと思えば値段的にも安いのではないかと思い参加を決めました。
- 2) どのようなプログラムだったか
申し込み完了後授業が始まるまでにテストを受けそれを元にクラス分けがありました。クラス発表は授業が始まる時にそのクラスのサイトに入ることでわかりました。1クラスの人数は17人で16人が都道府県は様々な日本人、1人が台湾人でした。先生が1人とティーチングアシスタントが1人、たまにボランティアの先生が参加してくださいました。週に三回の zoom での同期型の授業が1時間ありました。授業の最初にアイスブレイクとして「朝ご飯に何を食べたか」などを大きなトークルームで一人ずつ質問をしあい、それが終わるとその日に行うディスカッションのテーマについての先生からの説明があり、その後2人ずつのペアや5-6人程度のグループで小さなトークルームに分かれてそのテーマについてディスカッションをしました。それが終わるとメイントークルームにもどり、その日行ったディスカッションを発表していきました。授業の終わりには先生が次の授業までに準備しとくと良いことや課題について説明をしてくださいました。課題としてはムードルというものを使って提出しました。これ大阪府立大学のポータルサイトとあまり違いがないように感じ、特に使いにくいやわからないということはなかったです。一週間あたり20個位の課題が出されました。単語チェックのもの、動画をみてそれについての質問を答えるもの、エッセイをかくもの、スピーチの動画を自分で撮り投稿するもの、テーマに沿っての意見を書きクラスメイトの意見にコメントをかくものなどがありました。課題にも難しいものと比較的簡単なものがありましたが、特に毎週一回出されたエッセイの課題とスピーチの課題はとても難しく感じとても時間がかかりました。課題のテーマは、

環境問題、地元について、海外に行くことについてなど毎週大きなテーマが与えられてそれに沿った小さな課題をしていくというようなものでした。毎週違うテーマで、私は普段あまり深く考えない内容が多かったので考えることが少し大変でした。提出期限は大体すべて週末に合わせて下さっていたので気にすることなく好きな時間に課題を進めていくことができました。毎回 zoom の終わりにはわからないことをその場で聞くことのできる場がありましたし、先生に直接メールで聞いてもわかるまで何度も説明をしてくださいました。また、これは授業とは違うものなのですが、カフェソーシャルという受講者同士が自由にしゃべるという時間が週に 1 回ありました。これは授業を受けているクラスの人だけでなくレベルも違う他のクラスの人たちとも一緒になって行うものでした。私は 1 度しか参加できなかったのですがその時はカナダの人とペアになって話すことができました。

3) オンライン留学中

まず、クラスメイトがほとんど日本人だったことが衝撃でした。他の国の人たちとも話すことができると思っていたので少し残念に感じたこともあるのですが、その点に関しては逆に良かったかもしれないと思いました。プログラム参加者は英語のレベルが高い人が多く小さなトークルームでディスカッションするときはほぼ英語で行っていました。私は言いたいことがとっさに英語で出てこないときにそれについての説明として単語をつぶやいていと言いたい単語を言って確認してくれる人や、日本で英語を習ったからその英語の考え方が似ている人が多く積極的に発言していくことができました。Zoom だからこそみんなの反応が大きく安心しました。また、テーマについての意見をお互いにコメントし合う課題では、自分の意見に対して的確な質問をくれたり、同じ意見を持っている人や反対意見を持っている人からのコメントでテーマについて深く考えることができました。授業について一番印象に残ったことは、(おそらく私だけでなく他の人もそうしていたのですが) スピーチの課題で完璧にしなければならないと思い、スクリプトを作ってそれを読むことを録画して課題を提出していたら先生が授業で「私が見たいのはあなたたちがどれぐらい英語でしゃべることができるかと発音の確認をしたいのだから、スクリプトをまる読みするのではなく、箇条書きに言いたいことをメモしてそれを見ながらスピーチをしてほしい、勇気を出してほしい。」とこのようなことを言われたことです。スピーチを暗記せずに発表することを今まで日本語でもしたことがありませんでした。そのようなことを英語でやれと言われてもとても不安になりました。下手ではありましたがスクリプトを書かずにメモを見てスピーチをして提出をしました。すると個別のフィードバックにそのことについて良くできたというように褒めてくださいました。少し自信につながりました。

4) オンライン留学後

授業で毎週あうことはなくなるのですが、先生とティーチングアシスタントの先生が英語力を伸ばすためにはどうしたらよいかということをお細かく教えてくださったのでそれを実行していこうと思いました。オンライン留学だったので実際にプログラム受講者とは会うことはできなかったのですが、小さなトークルームで話していて話が合うと思った人とは SNS を交換することができました。ほとんどが日本人だったため外国人の友達はできませんでしたが英語力が比較的似ている友達ができただけは良かったのではないかと思います。また、プログラムを終えたときの達成感は大きかったです。

5) まとめ

同期型の授業は週に 3 回だったのでスピーキング力はそんなに飛躍したとは正直思えませんが、このプログラムに参加していなければ春休み中、英語に触れる機会はほとんどなかったのではないかと思います。課題が多く大変だったことも多いですがとても良い体験になったと思います。私は春休み特に忙しくはないのではないかと思います、このプログラムに参加したのですが、アルバイトや他の予定も少しずつ入れていたら割と忙しい毎日でした。参加しようと考えている人は少し時間に余裕を持ったスケジュールを組んでおくといいと思います。文法について今まで知らなかった考え方や忘れていただけかも入れませんが新しい単語を知ることができて良かったと思います。もし参加を迷っている人がいたら参加してみることをおすすめします。オンライン留学先の先生とのメールなどはすべて英語で、今までしたことのない経験をできたことも良かったと思います。また最後になりましたが、国際交流グループの方も参加までに丁寧に対応してくださいありがとうございました。